

# 原発をなくす全国連絡会 ニュース



原発をなくす全国連絡会

〒113-8465東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

E-mail: [no-nukes@min-iren.gr.jp](mailto:no-nukes@min-iren.gr.jp)

HP: <https://www.no-genpatu.jp>



原発をなくす全国連絡会

## STOP!海洋放出

### ALPS処理水の海洋放出中止を求める8.31院内集会

政府と東電は、「関係者の理解なしにいかなる処分も行わない」との約束を踏みにじり、8月24日にALPS処理水海洋放出を強行しました。

原発をなくす全国連絡会とふくしま復興共同センターは、8月31日、ALPS処理水の海洋放出中止を求める院内集会を開催しました。

院内集会に先立ち、首相官邸前で抗議行動を行いました。全日本民医連事務局長の岸本啓介さんは、「**福島県民と結んだ約束を反故にした政府の暴挙に改めて強く抗議する。即時海洋放出を中止せよ、の声を全国で広げよう**」と呼びかけました。官邸前には日本共産党から、岩渕友さん、山添拓さん、吉良よし子さんが駆けつけ、海洋放出の中止と原発ゼロの実現に向けて力を合わせて全力で頑張ることを表明しました。

とてもとても暑い中でしたが、官邸前には70人近くが集まりました。



院内集会では、冒頭に経産省への申し入れと署名提出が行われました。ふくしま復興共同センターの野木代表委員は、**◇ALPS処理水の海洋放出をただちに中止すること◇汚染水の発生を抑え、海洋放出以外の処分方法を国の責任で早急に検討すること**を申し入れました。経産省は、「漁業者から一定の理解を得た」「汚染水対策は重要と考えているが、広域遮水壁は検証の結果有効でない」などと回答しました。参加者から「広域遮水壁は効果がないというが、東電も政府が汚染水対策について真摯な検討をしているとは思えない。市民と世界の英知を結集した公開の場での討論をするべき」などと追及しました。



福島農民連の佐々木さんは、「**風評ではなく、実害だ。私たちは賠償をしてもらうために農業を、漁業をやっているわけではない**」と、怒りを露わに訴えました。福島民医連の松崎さんは「**原発事故賠償でコミュニティが分断された。また同様のことが起きるのではないか。海洋放出は、福島をダメにする害であると訴えていきたい**」と決意を語りました。新婦人福島県本部の村上さんは、「**漁業者との約束を堂々と破り、海洋放出した政府に不信感しかない。福島復興のために海洋放出に納得しなければいけないという雰囲気も許せない。12年という長い間たかかってきたのにまたこういう状況になっていることが悔しい。海洋放出ストップさせるためにみんなで力をあわせよう**」と呼びかけました。



日本共産党、立憲民主党、れいわ新選組から計5人の議員の皆さんが駆けつけ、海洋放出中止・原発ゼロを求めてともに闘う意志を表明してくれました。

写真は民医連新聞提供